

日語研究最新動態 資料庫主導的日語研究

33



2015年9月15日於臺灣大學外文系會議室舉辦「資料庫主導的日語研究」，本活動由國立國語研究所共同研究計畫「文字環境のモデル化と社会言語科学への応用」、臺灣大學日文系、臺灣大學日本研究中心、日本學術振興會科學研究費補助金基盤研究B「字体記述のデジタル化に基づく文字規範史の定位」共同主辦。本次活動由研究中心副主任林立萍教授主持開幕儀式，林立萍教授表示：「近年來與日語研究相關的語料庫（corpus）等各式電子化資料（言語資源）陸陸續續在網路上公開，這次很榮幸能邀請到北海道大學池田証壽教授、國立國語研究所阿部貴人教授、橫山詔



▲中心副主任林立萍教授致詞

一教授、高田智和教授爲大家介紹言語資源最新的研究成果。希望藉此讓學生在蒐集文獻資料、實態調查資料時能更加活用電子資源，達到事半功倍的效果」。

2015年9月15日、「データが主導する日本語研究」が、台湾大学外文系會議室において開催された。本活動は、国立国語研究所共同研究プロジェクト「文字環境のモデル化と社会言語科学への応用」、国立台湾大学日本文学系、日本研究中心、及び日本學術振興會科學研究費補助金基盤研究B「字体記述のデジタル化に基づく文字規範史の定位」の共同主催によるもの。開会式では、本センター副主任林立萍教授が、「最近は、日本語に関するコーパスやさまざまな電子化資料（言語資源）もネット上に公開されつつある。そのことに鑑み、北海道大学池田証壽教授、国立国語研究所阿部貴人教授、横山詔一教授、高田智和教授をお招きし、『データ主導型の日本語研究』に焦点を絞って最先端の研究成果が紹介された。学生が文献資料や実態調査資料の収集の際、今後は電子資源を積極的に活用し、半分の労力で倍の効果をあげられるようになればと期待している」とあいさつの辞を述べた。

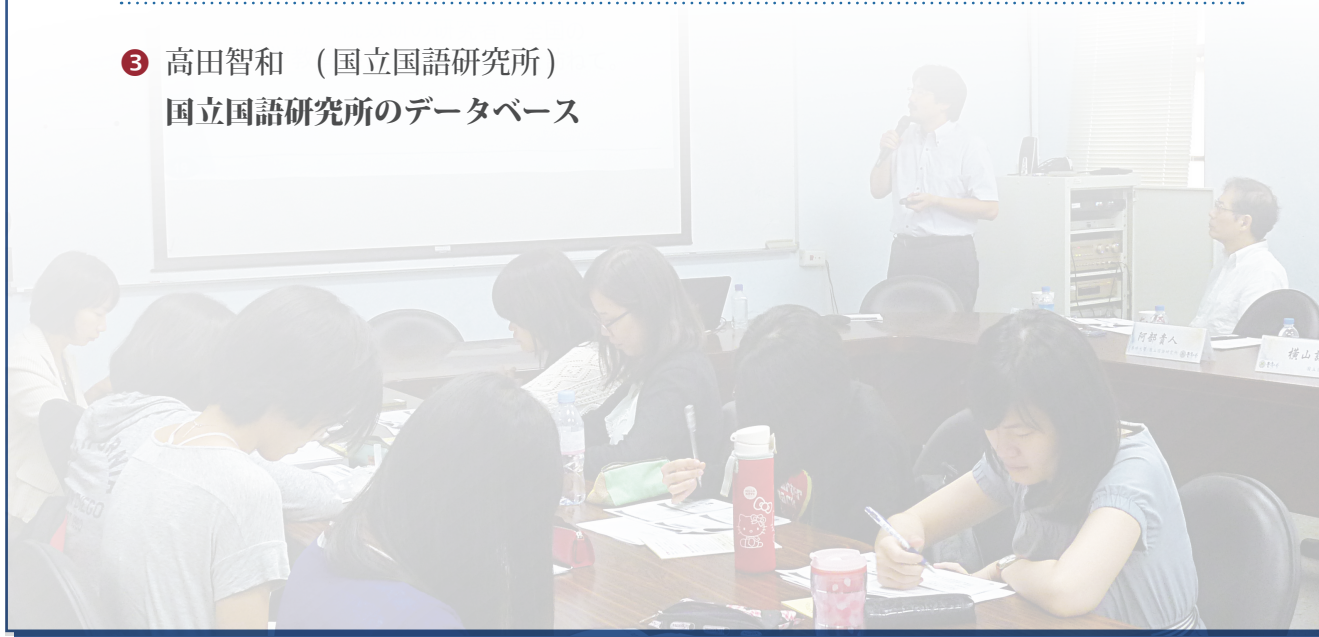
日本語研究最先端情報 データが主導する日本語研究

2015.09.15

34

本次活动主要分為三個場次，各場講題如下
プログラムの詳細は以下の通り

- ① 池田証寿（北海道大学）
データベースを利用した日本語の歴史的研究—古辞書と訓点資料—
- ② 阿部貴人（専修大学／国立国語研究所共同研員）、横山詔一（国立国語研究所）
話し言葉の経年変化
- ③ 高田智和（国立国語研究所）
国立国語研究所のデータベース



各場活動都保留時間供學生發問，透過本活動學生對於語料庫（corpus）等電子資源的運用有了更深的了解，今日的所得相信必會對將來研究有所助益。最後由日文系主任范淑文教授代表閉幕致詞為活動畫上完美的句點。◆

いずれのセッションでも学生による質疑の時間が設けられた。本活動を通して、学生はコーパス等の電子資源の運用についての理解を深め、また今回学んだことが今後の研究活動に有益なものになるにちがいない。最後は、日文系の范淑文教授による閉会の挨拶で幕が閉じられた。◆